

くみおどり りゅうきゅうげいのう ぜんこくてき ふきゅうかつどう とく たち たいげんがた こうえん とお ひとり おお かた
組踊をはじめとする琉球芸能の全国的な普及活動（特にこども達との体験型の公演）を通して、一人でも多くの方に、
おきなわ れきし げいのう きょうみ も こと りゅうきゅうげいのう しょうらい けいしゅう はってん ささ こと もくてき
沖縄の歴史や芸能に興味を持っていただく事と、琉球芸能の将来への継承と発展を支える事を目的に、
りゅうきゅうげいよう か くみおどりがたかた みやぎしげお せいさく あさのこう ちゅうしん けっせい
琉球舞踊家・組踊立方の宮城茂雄と、制作の浅野剛が中心となり、結成しました。

えんもく はいやく 演目・配役

わかしゅ かかず みちひこ
若衆ぜい・・・嘉数道彦（9月）
たまきたくみ
玉城匠（11月）
はま ちどり みやぎ しげお
浜千鳥・・・宮城茂雄

くみおどりりゅうきゅうはんかねいり 組踊 執心鑑入

しどう しまぶくろみつはる
指導・・・島袋光晴
なかぐすいくわかまつい かかず みちひこ
中 城若松・・・嘉数道彦（9月）
たまきたくみ
玉城匠（11月）
やどう ぬうんな みやぎ しげお
宿の女・・・宮城茂雄
ざーし う ざじんいち
座主・・・宇座仁一
くずう おやどまりきゅうげん
小僧・・・親泊久玄
くずう ひらたともゆき
小僧・・・平田智之
くずう たまきたくみ
小僧・・・玉城匠（9月）
みやざきかすみ
宮崎花澄（11月）
こうけん みやざきかすみ
後見・・・宮崎花澄（9月）
たかいけんたろう
高井賢太郎（11月）

じうてー 地謡

うたさんしん なかんだかり たつや
歌三線・・・仲村渠達也
うたさんしん しもじたけし
歌三線・・・下地健士
こと な か こ
箏・・・名嘉ヨシ子
ふえ みやら まさこ
笛・・・宮良政子
こきゅう てら やさつき
胡弓・・・照屋早月
たいこ きんじょうもりまつ
太鼓・・・金城盛松



歌舞伎・能楽

「文化芸術による子供育成推進事業―巡回公演事業―」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた
我が国の文化芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の
育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

くみおどりでんしょう かい 組踊 伝承の会

こ 子 ども の た め の 組 踊 の 世 界

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業―巡回公演事業―



文化庁

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

●令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業―巡回公演事業―」実施日程

9月6日(火) 登米市立石越中学校 すいせんだいしりつつかみあやしょうがっこう 9月7日(水) 仙台市立上愛子小学校 もくきたあきた しりつあいかわちゅうがっこう 9月8日(木) 北秋田市立合川中学校	11月8日(火) 北海道旭川養護学校 すい あっけしりょうりつしんりゅうしょうがっこう 11月9日(水) 厚岸町立真龍小学校 もく さっぽろしりつやま てしょうがっこう 11月10日(木) 札幌市立山の手小学校
--	---

こ ぐみおどり せかい 子どものための組踊の世界

おきなわ 「沖縄」ってどこ？

おきなわけん に ほ ん なんせい い ち
沖縄県は、日本の南西に位置しています。

いま ねんまえ りゅうきゅう くに
今から約140年前までは、「琉球」という国でした。

りゅうきゅうこくおう す しゅうりょう ちゅうしん げいのう ぶん か はてん
琉球国王の住まいでもある「首里城」を中心に、芸能や文化も発展してきました。

りゅうきゅうげいのう くみおどり 「琉球芸能・組踊」ってなに？

りゅうきゅう じだい げんざい う つ うた おど
琉球の時代から現在まで受け継がれている歌や踊りを、

「琉球芸能」といいます。詳しく説明すると、

うた さんしん おんがく りゅうきゅうこてん おんがく
歌や三線の音楽を「琉球古典音楽」、

まい おど りゅうきゅうぶよう うた おど
舞や踊りを「琉球舞踊」、歌や踊り、

とな ひょうげん げき くみおどり
唱え（せりふ）で表現する劇を「組踊」いいます。

おきなわ
沖縄

もとぶ
本部

なは
那覇

みやこじま
宮古島

いしがきじま
石垣島

えんもくかいせつ 演目解説

りゅうきゅうぶよう わかひゅ 琉球舞踊「若衆ぜい」

わかしゅ だい しょうねん そで なが ふりそでいしやう き おど とくちやう
若衆とは、10代の少年のことです。袖の長い振袖衣装を着て踊るのが特徴です。

「ぜい」という旗のような小道具を用いて表現します。

こ（おう そくいしき ひらう えんもく てんかたいへい へい わ いわ おど
国王の即位式に披露された演目のひとつで、天下泰平（平和）を祝う踊りです。

りゅうきゅうぶよう はまちどり 琉球舞踊「浜千鳥」

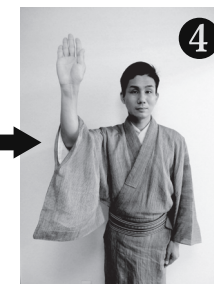
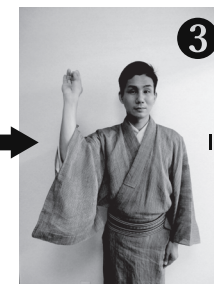
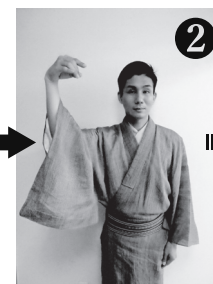
りゅうきゅう おきなわけん のち そうさく おど て て ぶ とくちやう
琉球から沖縄県となって後に、創作された踊りです。「こねり手」という手振りが特徴です。

たび で さび おも こころ うた
旅に出た寂しさや、ふるさを思う心が歌われます。

たいこ
太鼓

こきゅう
胡弓

こと
箏



◆◆ こねり手 ◆◆

くみおどり ひゅうりんかねのり 組踊「執心鐘入」

ねん しょうねん くみおどり さいしやう さくひん
1719年に初演された組踊の最初の作品です。

わかやまけん どうじやうじ せつわ えいきやう う
和歌山県にある「道成寺」の説話に影響を受けたといわれています。

あらすじ

びしょうねん りゅうきゅう ゆうめい なかぶすくわかまつ たび しゅっぱつ べめん
美少年として琉球で有名な「中城若松」が旅に出発する場面からはじまります。

たび とちやう ひ く いえ しゅくはく たの いえ
旅の途中で日が暮れてしまい、とある家に宿泊させてもらうように頼みます。その家には、
むすめ やど おんな ひとり るすばん し おとこ ひと と で き こたわ
娘（宿の女）が一人で留守番をしていて、知らない男の人を泊めることは出来ないと言います。

あこが なかぶすくわかまつ し むすめ わかまつ いえ まね い むすめ わかまつ こい
しかし、憧れの中城若松だと知った娘は、若松を家に招き入れます。娘は、若松に恋をしました。

むすめ わかまつ かた あ い よ わかまつ たび とちやう むすめ こいこころ う い
娘は若松と語り合いたいと言い寄りますが、若松は旅の途中で娘の恋心は受け入れられません。

ふたり おも ちが わかまつ いえ と だ
二人の思いはどんどんとすれ違い、ついに若松は家を飛び出します。

しつれん むすめ いち くる わかまつ お こわ わかまつ すえよし てら たす もと
失恋した娘は、怒り狂って若松を追いかけます。怖くなった若松は、末吉の寺に助けを求め、

ざす じゅうしやく かね なか わかまつ かく
座主（住職）は鐘の中に若松を隠します。

わかまつ こいこころ おさ むすめ すえよし てら たず えんぎ むすめ きやうらん
若松への恋心が収まらない娘は、末吉の寺へ訪ねてきます。若松に会えない娘は、ついに狂乱して

おに へんか ざす こぞう ひっし いの おに むすめ と ふ
「鬼」へと変化します。座主や小僧たちの必死の祈りで、鬼となった娘は説き伏せられます。

かんしやう 《鑑賞のポイント》

- ① 物語前半は、中城若松と娘のやり取りが中心です。ゆったりとした歌と、唱え（せりふ）で展開されます。
むすめ こころ へんか こいこころ しつれん きやうらん み
また、娘の心の変化（恋心から、失恋して、狂乱する）も見どころです。
- ② 物語後半は、末吉の寺の場面です。小僧たちのコミカルな演技と、娘の狂乱する表現、鬼に変化した娘と
ざす いの ぼめん み
座主たちとの祈り場面は、見どころです。
- ③ 組踊は、舞台セットがありません。執心鐘入では、物語を象徴する「鐘」の大道具だけで表現します。
くみおどり ぶたい しゅうしんかぜいり ものがたり しょうちやう かね おおどうぐ ひやうげん
観客の心でイメージを膨らませていただいて、旅先、家、寺の様子を思い浮かべて、お楽しみください。